

「発達障害支援を考えるシンポジウム」の開催について（案）

- 1 日 時 令和5年3月18日（土） 13:00～16:15
- 2 場 所 北九州国際会議場 メインホール
（規模：客席524席 オブザーバー席61席）
（住所：北九州市小倉北区浅野3-9-30）
（アクセス：JR小倉駅新幹線口から徒歩5分程度）
- 3 開催目的 発達障害について、その特性を踏まえた対応を理解すると共に、強度行動障害に関しても支援のノウハウを有する事業者の取組みを参加者と共有し、
① 発達障害児者への対応についての市民の理解促進を図る
② 強度行動障害の対応に悩んでいる市民や事業者等への今後の関わり方の一助となる
ことを目的として開催するもの。
- 4 対象者 ① 発達障害児者（発達が気になる児者も含む）の家族を中心とした市民
② 医療従事者、保育者、教員、障害福祉サービス事業者等専門職
- 5 内 容（組み立て）
 - （1）主催者挨拶：保健福祉局長
 - （2）全体コーディネーター：福岡教育大学 教授 中村 貴志 氏
（北九州市発達障害者支援地域協議会座長）
 - （3）基調講演（講演50分 質疑応答10分 計1時間）
 - テーマ 「困った行動の理解と支援
～ライフステージを通じ一貫した支援の重要性を理解する～」
 - 講 師：島根県立大学 教授 園山 繁樹 氏
 - （4）シンポジウム（シンポジスト説明1人15分 質疑応答45分 計1時間45分）
 - テーマ 「強度行動障害のある方への支援の実際
～本人を中心とした地域での暮らしをどう支えていくか～」
 - シンポジスト：4名
学識経験者、強度行動障害のある方への支援を行っている大規模事業者及び小規模事業者、行政機関（厚生労働省へ依頼） 各1名
 - （5）総 評（10～15分）
 - 総評者：島根県立大学 教授 園山 繁樹 氏
基調講演とシンポジウムを踏まえ、全体の内容を振り返る。